



目黒の未来に、

無責任でありたくない!

かいでん 和弘

かずひろ

無所属 25歳

Vol. 5 ◆ 2019年 3月 28日発行

プロフィール

- 1993年 ● 11月23日生まれ (25歳)
- 2006年 ● 目黒区立原町小学校 卒業
- 2012年 ● 都立桜修館中等教育学校 卒業 (旧 都立大学附属高校)
- 2016年 ● 北海道大学 法学部 (政治学専攻) 卒業
- 2016年 ● 民間のコンサルティング会社 就職
市区町村の調査・行政計画策定やPR業務に携わる。

特技・趣味 チェロ演奏、剣道 (2段)

好きなもの 野球観戦、水泳、読書、クラシック音楽、旅行、鉄道、歴史研究

Theme 「キミに何ができるの？」

未来志向の目黒区政を実現するため、無所属・最年少で活動中のかいでん 和弘です。

今回は「キミに何ができるの？」という疑問に対する私の思いをお伝えしていきます。

●「25歳に何ができるの？」

25歳。被選挙権を与えられる最低年齢であり、大卒で就職した場合の社会人3年目にあたります。

まだまだ駆け出しの若者に、目黒区政をチェックする

“区議”の役目が務まるかと考えたとき、果たして税金に見合うだけの仕事をできるか、不安に感じられるかもしれません。

政治家の役割は“変える”こと

確かに、皆さんが政治家に対して「地域からの陳情を聞き、コネや権力を使って役所を動かす」役回りを最も重視するのであれば、議員には経験豊富で各方面に顔の利くご年配の方のほうが適任だと思います。

でも政治家の役目はそれでいいのか、私は疑問に思います。もちろん陳情対応も大切な仕事ですが、それではあくまでも現状の微修正にしかありません。

将来の目黒区の厳しさを考えると、政治家に求められるべきは「今の制度を維持したうえで修正を繰り返す」ことではなく、「今の制度を根本的に考え直す」ことではないかと思うのです。そしてそのためには、長い議員生活で知らぬうちに築いてしまった“しがらみ”にとらわれない“自由さ”と、保身を捨てた“行動力”を備えた若い力が必要だと、私は思います。

バランスの悪い区議会

加えて、今の区議会は、目黒区民の年齢バランスとかけ離れた構成になっています(右図参照)。議員の多くが50代に固まり、同じくらい区民人口がある20代には議員が一人もいません。

あらかじめ断っておくと、別に議員の年齢が何歳でも、若者から高齢者まで各世代の意見をまんべんなく政策に反映できるなら何も問題はありません。でも実際は…

「私(議員本人)はもう若くはないから。」

「次の時代のことは未来の議会で決めればいいさ。」

「投票に行かない若者の声を聴くメリットは少ないな。」

いろいろな理由から、今の目黒区議会では、若者の思いを政策に取り入れられるとは思えません。

年齢層	区議の人数	目黒区の人口(3月)
20代	0人	35,003人
30代	5人	49,811人
40代	6人	49,752人
50代	14人	37,581人
60代	5人	25,328人
70代	3人	23,906人
80代	1人	14,391人

未来を担う若い人の思いを、政策に反映するためには、せめて区民の年齢バランスに見合っただけの若い世代が、区政の場にいるべきではないでしょうか。

25歳という若さは、私の“強み”です。



かいでん 和弘

かずひろ

無所属 25歳

Theme 「キミに何ができるの？」

◆ 2019年 3月 28日発行

●「無所属に何ができるの？」

国会では、与党が野党の反対を押し切って法案を通すことがあります。それは国会が、数の力=政治力の論理で動いているから。自分の思いを通すためには他党を上回る所属議員が必要なのです。

でも、区議会は少し違います。党派関係なく議員全員が、区長と区役所の仕事をチェックする役目を負うので、いわば、議員全員が区長に対する野党であるとも言えます。

ですから、国政政党の方針に縛られることのない無所属議員こそ、政党所属の議員には触れることのできない問題点にも切り込んでいくことができます。



無所属という立場は、私の“強み”です。

●「秘書経験もなくて何ができるの？」

私は、大学卒業後、民間企業勤務を経て政治活動を開始したため、議員秘書の経験がありません。

唯一、大学時代にインターンシップで北海道議会議員選挙を手伝ったことがあるくらいで、当然、秘書出身の方に比べて政治の現場経験は乏しいと思います。

でも、これからは“維持する”政治家ではなく“変える”

政治家が求められる時代。これまでの政治界での慣習やしがらみと決別した活動を行うためには、民間出身ならではの率直な感覚こそ欠かせないと思っています。

民間でのビジネス経験が、私の“強み”です。

●「キミに何ができるの？」

私には地盤（親から引き継いだ支援者）も看板（知名度）もカバン（資金）もありません。おまけに無所属で、最年少の25歳です。今までの“政治家”像からすれば異質で、圧倒的に不利な条件です。

でも今まで、リスクの少ない（親が政治家で最初から支援者がいたり、政党の支援を受けて組織ぐるみで票が固まっていたりする）方ばかりが政治家になって、それで状況はよくなってきたでしょうか。

そういう方こそ、各方面に忖度し、しがらみにとらわれて言いたいことが言えないのではないのでしょうか。

これからは、いままでのような“事なかれ”の政治を脱して、反対を受けたとしても未来のために主張し続けられる人間が必要です。だからこそ、これまでの“政治家”からは異質で、そして不利であることを自覚しつつも、挑戦することにしたのです。

為せば成る 為さねば成らぬ 何事も

成らぬは人の 為さぬなりけり

それが、私の信条です。



後援会 **かいでん応援団**

〒152-0013 東京都目黒区南1-1-11

☎ 090-3145-1156

✉ kazukaiden@gmail.com

HP・フェイスブックにて、活動記録を公開中です。

ラインからもお問い合わせ可能です。

かいでん和弘 🔍 検索

<https://www.kazu-kaiden.com>

